

僕が泣きたいと思ったのは

何慕
HE MU

このような始まりはとても唐突で、おかしいけど、僕は今泣いている。

「なぜ」と聞かれても、あまり「そうなんだ」というような原因がない。まさしく中島美嘉が歌ったあの歌のように、「僕が死のうと思ったのは 誕生日に杏の花が咲いたから」、それだけのことだ。

実はみんなに二つのことを聞きたいんだ。

一つ目は「あなたは、泣く人は弱虫だと思う」？この問題は古臭くて、もはや定番みたいなものだ。しかしアジア地区では、昔から、涙は弱い象徴で、もし男の子が泣いたら、最悪だと思う人も沢山いる。一方で、涙は女性の武器と取られていた。それは褒め言葉より、むしろ鎖だ。本当に泣きたい時、逆に縛られて、泣きづらくなる。こう考えると、皮肉なことではないだろうか。

僕の答えを言おう。「泣く人は弱虫ではないんだ」。

医学の観点から見ると、涙は正常な情緒の発散にすぎない。しかし、今日はそのような理性的なことを話すつもりはないんだ。僕に言わせれば、泣けることは心が柔らかいことだ。それは優しいのではなく、物事について、敏感で、反応が速いだけだ。何でもないことでも、話の裏から、情緒が伝わってくる。もしくは自分でもわからないまま、ただ何かに撃たれたかのように、涙が勝手に流れてくるのだ。

そこで二つ目の問題について聞きたいんだ。

「あなたは、泣く時自分がなぜ泣いているかはっ

きり言える」？

僕には到底できないんだ。それは漠然としていて、根源に辿ることは難しいからだ。僕はよく泣きながら、自分の心に問い詰める。「何のために泣いているの？早く泣き止んで」と。でも勿論これは徒労で、意味がないことだ。

僕が泣いた話を聴いて。この一週間に、僕は二回泣いた。

一回目は、課題のビデオを見ていたときだ。ビデオは東田直樹の「自閉症の僕が飛び跳ねる理由」で、その中にある無数の些細な奇跡と人間の美しさは、まるで僕の目の前のように眩しくて、泣きたくなった。

二回目は今だ。僕はチャットグループの中で、友達とゲームについて揉めた。すごかつまらない話だろう？揉めた後、八つ当たりしたくないので、大好きな音楽を聴いた。Khalidの「Saturday Nights」だ。「I guess there's certain dreams that you gotta keep/ 'Cause they'll only know what you let'em see」、聴きながら、涙が勝手に出てきた。

なぜ泣きながら、このようなつまらない文章を書いているのだろう。恐らく、こんな孤独な深夜に、ただ誰かに僕の心を聴かせてほしいからかもしれない。

僕の質問はまだ覚えている？

あなたは、泣く人が弱虫だと思う？

あなたは、泣く時自分がなぜ泣いているかはっきり言える？